

病歴・就労状況等申立書（サンプル）

申告人：さがみ 相子（母）

知的障害の診断がある場合は、生まれた頃のことから記載します。

ご本人からのヒアリングが難しい場合は、ご家族からヒアリングを行い申告人としています。

医療機関：なし

期間：平成○年○月○日～平成○年 3 月

平成○年○月○日出生。出生前のエコー検査や出生時には問題はなかった。

夜泣きがひどかったが、基本的には大人しい子だったため、そのときは誰にも相談しなかった。

2 歳頃から言葉の遅れが気になるようになり、3 歳児検診の際に指摘された。

あまり目が合わないことも気になり、1 度だけ医師に相談したが、まだ小さいため判断がつかないと言われた。

医療機関：なし

期間：平成○年 4 月～平成○年 3 月

平成○年 4 月、△△幼稚園に入園。

登園準備などにこだわりを見せるようになり、うまくいかないとパニックを起こして泣き叫ぶことがあった。

幼稚園では、集団行動などで周囲についていけないことがあり、さまざまな場面で先生からのサポートを受けていた。それでも、友だちに恵まれ、それなりに楽しく過ごせていた様子だった。

幼稚園の先生に勧められ、市の療育センターで就学前診断を受けたところ、自閉症の傾向があること、特に言語の点数が低いこと、支援学級に通うことも考えてみたほうが良いといったことを言われた。

医療機関：なし

期間：平成○年 4 月～平成○年 3 月

平成○年 4 月、□□小学校に入学。他の子と同じように勉強させたいという親の希望で普通級を選択した。

1 年生のうちはどうにか頑張っていたが、2 年生の頃から学習状況が周囲から大きく遅れ

るようになったため、3年生から支援級にも通うようになった。

遅れを取り戻そうと家庭でも勉強を教えたが、やはり理解は難しく、宿題もほとんど親がやっているような状態だった。

自分の興味のあることに対しては、何時間でも集中したが、興味のないことに対しては、全く集中できず、忘れ物も多かった。

5年生のとき、普通級の先生から忘れ物の多さについて、クラスメイト全員のいるところで叱られ、以降、普通級の児童からからかわれることが増えた。学校に行くのを嫌がるようになったが、無理やり行かせた。

医療機関：◇◇クリニック

期間：平成○年4月～平成○年3月

中学校でも普通級と支援級に通った。普通級ではいじめを受けるようになり、普通級へ行きたがらなくなった。授業にもついていけなくなっていたため、1年の途中から支援級を主になるよう、変更してもらった。

支援級では友人もでき、先生が障害に理解のある人だったため、この頃は学校に行きたくないと言うことは少なくなっていた。

ただ、合唱祭など普通級の子たちと一緒に参加する行事は、やはり周りに合わせる事が難しく、参加したくないと言って泣いた。

支援級の先生から、障害に理解があるからと、□□高校を勧められ、進学を決めた。

平成○年1月、◇◇クリニックで検査を受け、「自閉症スペクトラム・軽度知的障害」と診断された。このときに、併せて療育手帳（B2）も取得。

医療機関：なし

期間：平成○年4月～平成○年3月

平成○年4月、□□高校に入学。ひとりでは通学できないため、駅まで親が車で送迎していた。電車は何度も訓練し、乗れるようになった。

周囲の子どもたちも発達障害などの障害を持った子が多く、先生方のサポートが行き届いていたため、学校の雰囲気も穏やかで、安心して通わせられた。

中学のときには、周囲についていけず諦めていた部活にも参加し、大きな成績は残せなかったが、楽しそうな様子だった。

ただ、課外授業など普段の通学ルートと違う日は、混乱してしまい、宥めてもいつもどおり学校に行くと言って聞かなかった。

医療機関：なし

期間：平成○年4月～現在

平成○年4月、◇◇障害者職業能力開発校への通所を開始。

本人の興味のあるパソコンについて学んでいるが、やはりあいまいな指示について理解できなかつたりして、コミュニケーションは難しい状態。

先のことを考えたり、複数のことへ意識を向けたりすることができないため、考える必要がある仕事は難しい。

決まった作業の反復しかできず、就職先はかなり限られてくると思う。

自宅では、片付けや掃除ができないため、全て親がやっている。

食事についても、栄養バランスや食事量について考えることができないため、すべて一人分を取り分けて準備してやる必要がある。放っておくと、自分の好きなものばかりを、あとから具合が悪くなるくらいの量を食べてしまう。

暑い・寒いといった感覚が乏しく、また、1日の温度変化を考えたりすることもできないため、本人に任せると、夏でもセーターを着ていこうとするなど、季節に合わせて服を選ぶことができない。そのため、衣類についてもすべて親が用意している。

買い物も計算ができないため、買い物に行くときは付き添ってやる必要がある。

就労についても見通しは暗く、家族の支援なしでは日常生活も成り立っていない。

本人の能力では自立は難しく、今後も常に支援は必要になってくると考えられる。

以上